

信越本線における大雪による長時間駅間停車について

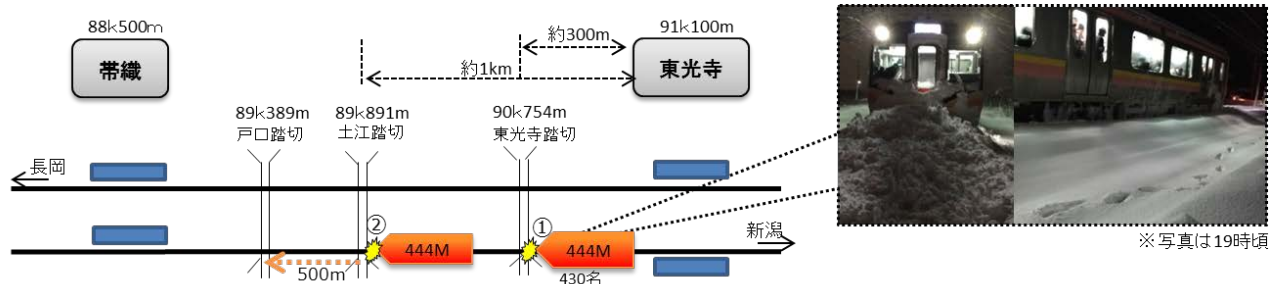
1月11日（木）信越本線において、第444M列車が東光寺～帯織駅間を走行中に雪を抱えて停車した事象では、長時間お客さまを列車の中に閉じ込める結果となり、現在再発防止に努めているところであります。

事象の概要及び再発防止対策、関係機関の皆様へのご協力をお願いを以下に記します。

■概要

- 1 発生日時 2018年1月11日（木）18時56分
- 2 発生場所 信越本線 東光寺～帯織間上り線 ①90k769m付近 ②89k916m付近（直江津起点）
- 3 列車番号 第444M列車（新潟発・長岡行） E129系4両
- 4 概況 強い冬型の気圧配置の影響により、日本海側を中心に大雪に見舞われました。第444M（約430名乗車）は、18時56分東光寺～帯織間走行中に東光寺踏切確認のため一旦停止、起動開始しようとしたましたが、雪を抱えて停車したため除雪を行い20時46分に運転再開をしました。その後、21時01分に土江踏切の確認で停車した際、降雪が酷くなり前途運転が不可能となり、機械等による除雪を行い、翌10時26分に運転再開をしました。

5 列車在線位置



6 お客さま救済



【現地の様子】



7 再発防止について

(1) お客様の救済

- ・ 降積雪により駅間に列車が停車した場合は、除雪作業と並行して早期救済を実施する。
- ・ 最寄り駅へ収容できないと見込まれる場合は、可能な限りバス・タクシーの手配を実施し、順次降車誘導を実施する。

(2) お客様への情報提供

- ・ 長時間の運転見合せ時に、復旧作業の進捗・見通しや、お客様救済計画、運転再開見込みなどの情報をお客様に適宜提供することを徹底する。
- ・ 上記を実現するため社員教育を定期的実施する。

(3) 除雪体制の確立

- ・ 降雪状況を考慮した除雪体制を確立するとともに、適切な除雪を実施する。

8 関係機関の皆様へのお願い

お客様の救済を実施するにあたり、引き続き関係機関の皆様へ以下のお願ひがあります。

なお、下記のお願ひ事項につきましては、既に運輸系の関係機関の皆様には調整を進めさせていただいております。

- ・ お客様の救済が必要となった場合のバス・タクシー等の確保について、引き続きご協力をお願いいたします。
- ・ 当社だけではお客様の救済が困難と想定される場合は、警察、消防等のご協力をお願いいたします。
- ・ お客様救済のための、避難場所や道路の確保等に関し、関係自体等のご支援をお願いいたします。

以上